

自宅死亡割合の地域相関分析

研究分担者：菊池 潤（国立社会保障・人口問題研究所 第三室長）

厚生労働省「人口動態統計」によると、2015年時点において病院死亡割合が74.6%であるのに対し、自宅死亡割合は12.7%となっている。一方で、「終末期医療に関する調査」(2008年)や内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」(2007年)などの調査は、終末期の療養場所について希望と現実の間にギャップが存在する可能性を示唆する結果となっており、自宅での看取りを妨げる何らかの要因が存在することが示唆される。以上の問題認識のもと、本研究では厚生労働省が作成・公表した「在宅医療に関する地域別データ集」を基本とした市区町村データをもとに、市区町村間で観察される自宅死亡割合の変動要因について検討を行った。

自宅死亡割合(対数オッズ比)を被説明変数とした回帰分析を行った結果、以下の結果が得られた。第1に、看取りを実施する診療所数(対高齢者人口)が多い市区町村ほど、自宅死亡割合が高くなる結果が示された。以上の結果は、都市規模別(大都市、中都市1、中都市2、小都市、町村)に分析を行った場合でも、全ての都市規模において支持される結果となった。一方で、訪問診療や訪問看護についてはほぼ全ての都市規模において有意とはならず、自宅での看取りを支えるためにはこれらのサービスのみでは不十分であることを示唆する結果となった。

第2に、療養病床数(対高齢者人口)が多い市区町村ほど、自宅死亡割合が低くなる結果が示された。この点についても、全ての都市規模において支持される結果となっており、自宅での看取りが困難な状況下において、本人・家族にとって療養病床が有力な選択肢となっている状況を示唆するものである。

第3に、医療・介護提供体制が死亡場所に与える影響については、都市規模によって異なる可能性も示唆された。特に町村部においては、療養病床のみならず、一般病床や介護施設についても自宅死亡割合の阻害要因となっており、都市部と比較して医療機関や介護施設の機能が異なる可能性を示唆する結果が得られた。

【A. 研究目的】

わが国の死亡場所別にみた死亡者の割合は、1951年には自宅が82.5%、病院が9.1%であったが、その後、自宅死亡割合が低下する一方で、病院死亡割合が上昇することにより、2015年現在では、病院死亡割合が74.6%であるのに対し、自宅死亡割合は12.7%となっている(厚生労働省「人口動態統計」)。

一方で、「終末期医療に関する調査」(2008年)によると、「自宅で最期まで療養したい」、「自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい」、あるいは「自宅で療

養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」と回答した者の割合が国民の6割程度に達している。また、内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」(2007年)においても、55歳以上の約4割が自宅での介護を希望している実態が示されている。これらの結果は人生の最期をどこで迎えるかについて、現実と希望の間でギャップが存在していることを示唆しており、自宅での看取りを妨げる何らかの要因が存在することが示唆される。

また、保険財政の制約のもとこれまで看取りの場として機能してきた病床数が削減され

ていく中で、今後死亡者数は拡大していくことが予想されており、介護施設や自宅での看取り機能を強化する必要がある。特に療養病床や介護施設が少ない大都市部においては、今後急速な高齢化を迎えることが予想されており、介護施設や自宅での看取りをいかに可能とするかは極めて重要な政策課題となっている。

以上の問題認識のもと、本稿では市区町村間で観察される自宅死亡割合の変動要因について検討することにより、自宅での看取りを困難としている要因について明らかにすることを目的としている。

【B. 方法】

本稿では厚生労働省により作成、公表された「在宅医療にかかる地域別データ集」を使用する。同データは在宅医療に関する公開可能な統計情報について、1,741の基礎自治体別に再集計したものであり、死亡場所別に見た死亡数の割合や、在宅医療や在宅介護の提供体制等に関する情報が市区町村別にまとめている。以上のデータに各種の市区町村データを接続することにより、分析用データセットを作成した。本稿で使用する分析用データセットの概要は表1の通りである。

なお、本稿では2014年中の死亡者における自宅死亡者の割合（以下、自宅死亡割合）を分析の対象としているが、同年中に死亡者数がゼロであった東京都利島村は分析から除外した。また、入院医療に関する指標として二次医療圏単位で測定した病床数（対65歳以上人口）を使用するが、神奈川県横浜市や同川崎市では同一市内に複数の二次医療圏が設定されていることから、本稿の分析から除外

した。この結果、本稿の分析対象は1,738市区町村となる。

以上のデータを用いて、自宅死亡割合の対数オッズ比（ロジット）を被説明変数とする重回帰分析を行った。この際、自宅死亡割合がゼロとなる市町村が一部存在することから、経験ロジット変換を行った。説明変数は、社会経済状況に関する変数、入院医療に関する変数、在宅医療に関する変数、介護施設に関する変数、および在宅介護に関する変数（在宅）の5種類の変数群に大別される。以上の変数の中から、自宅死亡割合（対数オッズ）との相関や他の変数との相関を考慮したうえで、回帰分析に使用する説明変数を決定した。推定方法は死亡者数をウエイトとする加重最小二乗法とし、全市区町村を対象としたケースに加えて、都市規模別にした層別化した推定を行った。なお、都市規模については、大都市（特別区・政令市）中都市1（人口20万人以上の市）中都市2（人口10万人以上20万人未満の市）小都市（人口10万人未満の市）および町村の5つに分類した。

【C. 結果】

表2は各変数の記述統計をまとめたものである。自宅死亡割合の平均値は11.3%となっており、最小値は0%（北海道音威子府村など22町村）、最大値は54.8%（東京都神津島村）となっている。各市区町村の自宅死亡割合は確率変数であり大数の法則が作用するため、人口規模が小さくなるほど（死亡者数が少なくなるほど）自宅死亡割合の分散が拡大することになる（図1参照）。実際、自宅死亡割合が30%以上となる地域や、5%未満となる地域のほとんどは町村部となっている。一方で、

都市規模別の平均値をみると、都市規模の拡大とともに自宅死亡割合が上昇する傾向が見られる。

都市規模と地域変数の関係を見てみると、人口、人口密度、第3次産業比率、および人口1人当たり課税所得については都市規模が大きいほど高くなっている。逆に、高齢化指標、世帯人員、第1次産業比率、および持ち家率については都市規模が大きいほど低くなっている。

都市規模と医療・介護提供体制との関係を見てみると、在支診（対65歳以上人口）看取りを実施する診療所数（同）および訪問看護ST数で、都市規模が大きくなるほど多い結果となっている。逆に、介護老人福祉施設定員数（同）については都市規模が大きくなるほど少ない結果となっている。

表3は自宅死亡割合（対数オッズ比）と各変数の相関係数を示した結果である。地域変数のうち相関係数の絶対値が0.3を超えるものについてみてみると、人口密度、都市化率、および人口1人当たり課税所得で正の相関、高齢化指標、第1次産業比率、および持ち家率で負の相関となっており、持ち家率を除けば表2で確認した結果と同様の結果となっている。

医療・介護提供体制に関する指標については、病床数に関する多くの指標で負の相関が、看取りを実施する一般診療所数で正の相関が観察され、なかでも療養病床数に関しては都市規模別に見た場合でも全ての都市規模において負の相関が観察される結果となっている。

回帰分析の結果が表4である。在宅医療に関する指標としては3つの変数を採用しているが、モデル1では在支診数（対65歳以上人口）を、モデル2では訪問診療を実施する診

療所数（同）を、モデル3では看取りを実施する診療所数（同）をそれぞれ投入している。全市区町村を対象としたケース、都市規模別に回帰を行ったケース、いずれの場合においても、看取りを実施する診療所数を採用した推定モデル（モデル3）で決定係数が最も高い結果となったため、以下では同モデルの推定結果に基づいて結果の検討を行う。

地域変数に関しては、全市区町村を対象とした場合には、人口密度がプラスで、高齢化率と第1次産業比率がマイナスで有意となっている（有意水準5%、以下同じ）。一方で、都市規模別に回帰を行った場合には、人口密度は中都市2で、高齢化率は小都市で、第1次産業比率は町村でのみそれぞれ有意な結果となっている。先にみたとおりこれらの変数は都市規模との関連が強い変数であるが、都市規模を制御した場合には、都市規模内での変動が小さくなるため、都市規模別の分析では有意な結果とならなかったと考えられる。

医療・介護提供体制に関する変数に関しては、全市区町村を対象としたケースにおいて、一般病床病床数（対65歳以上人口10万）、療養病床数（同）、介護老人保健施設定員数（同）、介護老人福祉施設定員数（同）、および小規模多機能型居宅介護施設数（同）において負で有意、看取りを実施する診療所数（同）、訪問看護ST数（同）において正で有意となっている。このうち、療養病床数と看取りを実施する診療所数については、全ての都市規模において有意な結果となっている。一方で、小規模多機能型居宅介護については大都市のみ、訪問看護ST数は小都市のみ、一般病床数、介護老人福祉施設定員数、介護老人保健施設数については、町村部においてのみ有意な結果となっており、都市規模にお

いて影響が異なることを示唆する結果となっている。

【D. 考察とE. 結論】

本稿の分析の結果、全ての都市規模において、看取りを実施する診療所数が自宅死亡割合の促進要因として示された。一方で、訪問診療や訪問看護についてはほぼ全ての都市規模において有意な結果とならなかった。訪問診療や訪問看護が在宅での療養生活を支える重要なサービスであることは間違いないがそれだけでは不十分であり、住み慣れた地域で最期まで生活を送るためには、看取りまでを地域で支えるための体制整備が重要であると考えられる。逆に言えば、自宅での看取りを支える医療機関が不足しているために、自宅での療養を断念し、介護施設や医療機関での療養を選択している実態が存在するものと推察される。

一方で、全ての都市規模において、療養病床数が自宅死亡割合の阻害要因として示された。この結果は、自宅での看取りが困難な状況下において、本人、家族にとって療養病床が有力な選択肢となっている状況を示唆するものである。

以上二点については、全ての都市規模について共通の結果となっているが、医療・介護提供体制が死亡場所に与える影響については、都市規模によって異なる可能性も示唆された。特に町村部においては、療養病床のみならず、一般病床や介護施設についても自宅死亡割合の阻害要因となっており、これらの地域における医療機関や介護施設の機能は都市部とは異なる可能性が示唆された。

最後に本稿の分析上の課題として、内生性の問題が挙げられる。本稿の分析結果は因果

関係を示すものではなく、十分な提供体制が自宅死亡を可能としているのか、自宅死亡のニーズが高いために提供体制が整備されているのか、識別することはできない。特に、本稿で採用した看取りを実施する診療所数については、実績ベースの指標となっており、登録ベースでの指標を用いることがより好ましいと考えられる。以上の点については今後の課題としたい。

【F. 健康危険情報】

特になし

【G. 研究発表】

未発表

【H. 知的財産権の取得・登録状況】

該当なし

表 1：使用データ

項目	時点	データ
在宅医療に関する地域別データ集		
人口	H26.1.1	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
うち65歳以上	H26.1.1	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
在宅療養支援病院	H26.3.31	厚生局調べ
在宅療養支援診療所	H26.3.31	厚生局調べ
訪問診療を実施する一般診療所数	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」(特別集計)
看取りを実施する一般診療所数	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」(特別集計)
訪問看護ステーション	H26.10.1	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(特別集計)
訪問看護ステーションの看護職員数(常勤換算)	H26.10.1	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(特別集計)
うち24時間対応のステーションの職員数(常勤換算)	H26.10.1	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(特別集計)
介護療養型医療施設病床数	H26.10.1	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」
介護老人保健施設定員	H26.10.1	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」
介護老人福祉施設定員	H26.10.1	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」
小規模多機能型居宅介護事業所	H26.10.1	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(特別集計)
複合型サービス事業所	H26.10.1	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(特別集計)
自宅死の割合	H26.1～H26.12	厚生労働省「人口動態調査」(特別集計)
老人ホーム死の割合	H26.1～H26.12	厚生労働省「人口動態調査」(特別集計)
地域経済データ(2016年版)		
課税対象所得・所得額	H26	総務省自治税務局「市町村税課税状況等の調」
人口密度	H22	総務省統計局「国勢調査」
人口(国勢調査):男女:総数	H22	総務省統計局「国勢調査」
人口(国勢調査):男女:65～69歳	H22	総務省統計局「国勢調査」
人口(国勢調査):男女:70～74歳	H22	総務省統計局「国勢調査」
人口(国勢調査):男女:75～79歳	H22	総務省統計局「国勢調査」
人口(国勢調査):男女:80～84歳	H22	総務省統計局「国勢調査」
人口(国勢調査):男女:85歳以上	H22	総務省統計局「国勢調査」
人口:人口集中地区	H22	総務省統計局「国勢調査」
一般世帯数:計	H22	総務省統計局「国勢調査」
一般世帯人員	H22	総務省統計局「国勢調査」
一般世帯数:65歳以上の親族のいる	H22	総務省統計局「国勢調査」
高齢夫婦世帯数	H22	総務省統計局「国勢調査」
高齢単身世帯数	H22	総務省統計局「国勢調査」
持家世帯比率(国勢調査)	H22	総務省統計局「国勢調査」
就業者数:男女:全産業	H22	総務省統計局「国勢調査」
就業者数:男女:第1次産業	H22	総務省統計局「国勢調査」
就業者数:男女:第2次産業	H22	総務省統計局「国勢調査」
就業者数:男女:第3次産業	H22	総務省統計局「国勢調査」
その他		
病院病床数	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」
病院病床数(精神)	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」
病院病床数(感染症)	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」
病院病床数(結核)	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」
病院病床数(療養)	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」
病院病床数(一般)	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」
一般診療病床数	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」
一般診療病床数(療養)	H26.10.1	厚生労働省「医療施設調査」
死亡者数	H26.1～H26.12	厚生労働省「人口動態調査」

表 2：記述統計

変数	単位	全体 n=1,738				大都市 n=41	中都市1 n=90	中都市2 n=153	小都市 n=526	町村 n=928
		平均値	標準偏差	最小値	最大値					
死亡者										
死亡者数	人	709	1,475	1	27,138	6,725	3,176	1,374	605	152
自宅死の割合	%	11.3	5.2	0.0	54.8	15.9	13.3	12.6	11.1	10.7
老人ホーム死の割合	%	6.1	5.3	0.0	42.5	5.9	5.8	5.6	5.7	6.4
地域変数										
人口	人	69,845	157,849	168	2,551,482	739,387	340,462	139,733	52,488	12,335
65歳以上人口	人	17,557	36,958	23	618,568	169,601	82,081	34,704	14,409	3,539
65歳以上割合(高齢化率)	%	28.4	7.5	10.0	60.5	20.9	22.1	22.8	27.1	31.0
75歳以上割合(対65歳以上人口)	%	52.4	6.8	31.8	71.0	46.7	45.7	46.6	51.4	54.8
85歳以上割合(対65歳以上人口)	%	15.0	3.1	6.3	29.5	12.1	11.9	12.4	14.6	16.0
人口密度	人/平方キロメートル	1,040	2,426	2	21,882	9,882	2,972	2,506	824	342
都市化率	%	27.7	34.1	0.0	100.0	94.6	77.1	66.6	34.1	9.9
世帯人員	人	2.6	0.4	1.6	3.8	2.1	2.4	2.5	2.7	2.7
高齢夫婦世帯比率	%	26.0	6.0	5.0	47.2	25.9	28.4	27.7	25.7	25.7
高齢単身世帯比率	%	22.0	7.4	5.6	60.0	33.3	24.2	22.4	21.1	21.7
第1次産業比率	%	11.4	10.6	0.0	75.6	0.7	2.2	3.5	8.5	15.8
第2次産業比率	%	25.6	8.1	1.5	50.3	16.3	23.1	26.1	27.4	25.2
第3次産業比率	%	60.3	9.2	21.1	93.4	71.4	68.8	65.1	61.2	57.6
人口1人当たり課税所得	千円/人	1,130	380	477	7,449	2,204	1,435	1,368	1,133	1,012
持家世帯比率	%	74.8	12.6	0.0	97.7	48.6	61.8	65.8	74.2	79.1
医療(入院)										
病院病床数	床/高齢人口10万	4,964	1,567	620	9,378	5,232	5,014	4,749	4,975	4,977
病院病床数(精神)	床/高齢人口10万	1,157	701	0	4,717	660	1,159	1,126	1,188	1,166
病院病床数(感染症)	床/高齢人口10万	8	7	0	59	6	5	5	8	10
病院病床数(結核)	床/高齢人口10万	17	27	0	187	15	20	22	18	16
病院病床数(療養)	床/高齢人口10万	1,109	623	0	3,438	870	982	1,032	1,134	1,130
病院病床数(一般)	床/高齢人口10万	2,673	832	597	8,156	3,682	2,849	2,564	2,626	2,656
一般診療病床数	床/高齢人口10万	359	544	0	8,696	257	416	355	404	332
一般診療病床数(療養)	床/高齢人口10万	49	169	0	3,571	19	35	36	49	53
一般診療病床数(一般)	床/高齢人口10万	310	467	0	8,696	238	380	320	355	279
医療(在宅)										
在宅療養支援病院	施設/高齢人口10万	3	8	0	98	3	3	3	3	3
在宅療養支援診療所	施設/高齢人口10万	34	37	0	355	70	48	40	36	29
訪問診療を実施する一般診療所数	施設/高齢人口10万	60	53	0	1,000	82	67	58	61	59
看取りを実施する一般診療所数	施設/高齢人口10万	13	23	0	376	16	14	14	13	12
介護(施設)										
介護療養型医療施設病床数	定員/高齢人口10万	203	579	0	12,384	193	207	184	236	186
介護老人保健施設定員	定員/高齢人口10万	1,256	1,400	0	22,280	833	1,046	1,100	1,333	1,278
介護老人福祉施設定員	定員/高齢人口10万	2,156	1,775	0	21,978	1,285	1,372	1,473	1,754	2,612
介護(在宅)										
訪問看護ステーション	施設/高齢人口10万	19	18	0	144	32	26	23	22	16
小規模多機能型居宅介護事業所	施設/高齢人口10万	15	27	0	493	10	16	15	16	15
複合型サービス事業所	施設/高齢人口10万	0	1	0	25	1	1	1	0	0
訪問看護ステーションの看護職員数(常勤換算)	人/高齢人口10万	76	86	0	1,721	131	108	93	91	60
うち24時間対応のステーションの職員数(常勤換算)	人/高齢人口10万	69	83	0	1,721	116	99	85	83	54

図 1：自宅死亡割合と人口規模

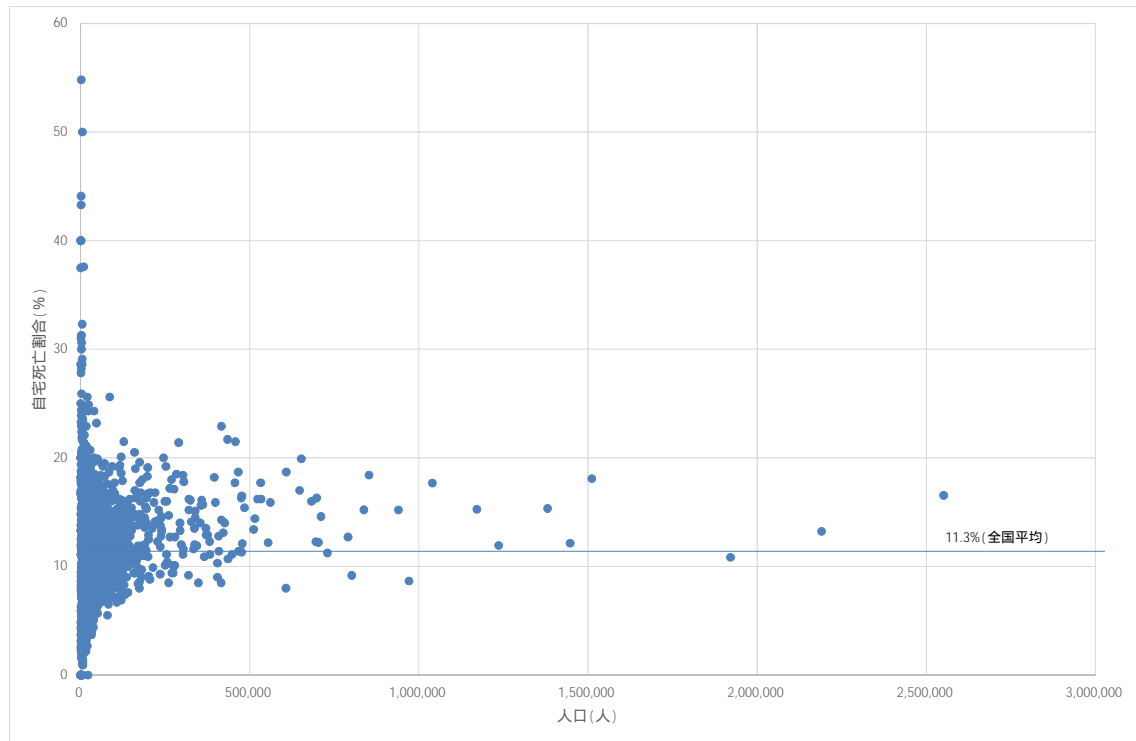


表3：自宅死亡割合（対数オッズ比）と各変数の相関係数

変数	全体 n=1,738	大都市 n=41	中都市1 n=90	中都市2 n=153	小都市 n=526	町村 n=928
地域変数						
人口	0.267	-0.163	0.152	0.132	0.220	0.142
65歳以上人口	0.259	-0.157	0.068	-0.056	0.108	0.100
65歳以上割合(高齢化率)	-0.385	-0.100	-0.288	-0.272	-0.299	-0.169
75歳以上割合(対65歳以上人口)	-0.387	-0.224	-0.460	-0.304	-0.234	-0.169
85歳以上割合(対65歳以上人口)	-0.422	-0.336	-0.515	-0.320	-0.233	-0.170
人口密度	0.484	0.608	0.532	0.436	0.236	0.167
都市化率	0.447	0.478	0.440	0.313	0.175	0.119
世帯人員	-0.270	-0.483	-0.081	-0.050	0.139	0.140
高齢夫婦世帯比率	0.009	-0.384	0.103	0.044	-0.102	-0.081
高齢単身世帯比率	0.208	0.471	0.069	-0.054	-0.235	-0.185
第1次産業比率	-0.419	-0.453	-0.443	-0.288	-0.250	-0.244
第2次産業比率	-0.174	-0.295	-0.008	-0.131	0.066	0.183
第3次産業比率	0.267	-0.114	0.022	0.134	0.077	0.080
人口1人当たり課税所得	0.425	0.336	0.466	0.423	0.326	0.179
持家世帯比率	-0.361	-0.366	-0.033	-0.236	-0.065	0.103
医療(入院)						
病院病床数	-0.302	-0.482	-0.533	-0.316	-0.313	-0.284
病院病床数(精神)	-0.373	-0.637	-0.432	-0.209	-0.305	-0.199
病院病床数(感染症)	-0.244	0.107	-0.244	-0.174	-0.163	-0.115
病院病床数(結核)	-0.087	-0.183	-0.224	-0.020	-0.080	-0.070
病院病床数(療養)	-0.367	-0.607	-0.447	-0.305	-0.302	-0.309
病院病床数(一般)	-0.004	-0.112	-0.390	-0.218	-0.090	-0.128
一般診療病床数	-0.314	-0.522	-0.446	-0.488	-0.325	-0.062
一般診療病床数(療養)	-0.245	-0.510	-0.431	-0.374	-0.184	-0.070
一般診療病床数(一般)	-0.300	-0.512	-0.437	-0.491	-0.327	-0.047
医療(在宅)						
在宅療養支援病院	-0.020	0.140	-0.208	-0.066	-0.079	-0.015
在宅療養支援診療所	0.245	0.252	-0.048	0.100	0.080	0.132
訪問診療を実施する一般診療所数	0.207	0.286	-0.057	0.054	0.128	0.166
看取りを実施する一般診療所数	0.344	0.595	0.120	0.293	0.465	0.246
介護(施設)						
介護療養型医療施設病床数	-0.181	-0.294	-0.394	-0.171	-0.205	-0.106
介護老人保健施設定員	-0.225	-0.418	-0.315	-0.200	-0.150	-0.078
介護老人福祉施設定員	-0.240	-0.386	-0.089	-0.103	-0.044	-0.163
介護(在宅)						
訪問看護ステーション	0.197	0.180	-0.020	0.083	0.140	0.022
小規模多機能型居宅介護事業所	-0.214	-0.640	-0.365	-0.302	-0.088	-0.028
複合型サービス事業所	-0.025	-0.367	-0.271	-0.074	0.011	0.043
訪問看護ステーションの看護職員数(常勤換算)	0.205	0.093	-0.042	0.074	0.195	0.015
うち24時間対応のステーションの職員数(常勤換算)	0.204	0.045	-0.068	0.065	0.228	0.041

表 4：推定結果

	全体			大都市			中都市1		
	モデル1	モデル2	モデル3	モデル1	モデル2	モデル3	モデル1	モデル2	モデル3
サンプル数	1738	1738	1738	41	41	41	90	90	90
F値	88.32	90.92	107.33	6.05	6.2	7.85	4.78	4.8	5.31
Prob > F	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
決定係数(自由度修正済み)	0.3952	0.4023	0.4431	0.6212	0.6284	0.6899	0.3556	0.3572	0.3864
地域変数									
65歳以上割合(高齢化率)	-0.0047 *	-0.0067 **	-0.0061 **	-0.0071	-0.0113	-0.0127	0.0197	0.0169	0.0135
人口密度	0.0000 ***	0.0000 ***	0.0000 ***	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
第1次産業比率	-0.0094 ***	-0.0089 ***	-0.0089 ***	0.0872	0.0780	0.0523	-0.0086	-0.0089	-0.0202
人口1人当たり課税所得	0.0000	0.0000	0.0000	-0.0001	-0.0001	-0.0001	0.0004	0.0003	0.0003
医療(入院)									
病院病床数(療養)	-0.0002 ***	-0.0002 ***	-0.0001 ***	-0.0003 **	-0.0003 **	-0.0002 *	-0.0002 **	-0.0001 **	-0.0001 *
病院病床数(一般)	-0.0000 ***	-0.0000 ***	-0.0000 **	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
医療(在宅)									
在宅療養支援病院	-0.0011	-0.0005	0.0002	0.0382	0.0344	0.0380 *	-0.0089	-0.0079	-0.0073
診療所数(注1)	0.0014 ***	0.0016 ***	0.0092 ***	0.0003	0.0012	0.0145 *	0.0006	0.0007	0.0110 *
介護(施設)									
介護老人保健施設定員	-0.0000 *	-0.0000 *	-0.0000 **	-0.0003	-0.0003 *	-0.0002	-0.0001	-0.0001	-0.0001
介護老人福祉施設定員	-0.0000 **	-0.0000 **	-0.0000 **	-0.0001	-0.0000	-0.0000	-0.0001	-0.0001	-0.0002
介護(在宅)									
訪問看護ステーション	0.0027 ***	0.0023 **	0.0020 **	0.0083	0.0059	0.0045	0.0032	0.0028	-0.0000
小規模多機能型居宅介護事業所	-0.0018 **	-0.0021 ***	-0.0020 ***	-0.0206 **	-0.0209 **	-0.0178 **	0.0002	0.0002	-0.0004
複合型サービス事業所	0.0001	0.0003	-0.0020	-0.0121	0.0002	-0.0116	-0.0266	-0.0282	-0.0276
定数項	-1.6205 ***	-1.6067 ***	-1.6785 ***	-1.0753 *	-0.9713 *	-1.2064 **	-2.5537 ***	-2.4669 ***	-2.3379 ***

注1) 診療所数はモデル1は在宅療養支援診療所、モデル2は訪問診療を実施している診療所、モデル3は看取りを実施している診療所でそれぞれ評価。

注2) *は5%水準で、**は1%水準で、***は0.1%水準でそれぞれ有意であることを示す。

表 4：推定結果（つづき）

	中都市2			小都市			町村		
	モデル1	モデル2	モデル3	モデル1	モデル2	モデル3	モデル1	モデル2	モデル3
サンプル数	153	153	153	526	526	526	928	928	928
F値	5.3	5.16	6.58	11.46	12.14	20.9	17.97	18.31	20.79
Prob > F	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
決定係数(自由度修正済み)	0.2687	0.2625	0.3229	0.2058	0.2162	0.3301	0.1922	0.1954	0.2172
地域変数									
65歳以上割合(高齢化率)	-0.0016	-0.0032	-0.0030	-0.0095 **	-0.0110 **	-0.0117 ***	-0.0017	-0.0031	-0.0028
人口密度	0.0000	0.0000	0.0000 **	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
第1次産業比率	-0.0096	-0.0082	-0.0100	-0.0010	-0.0006	-0.0010	-0.0100 ***	-0.0098 ***	-0.0092 ***
人口1人当たり課税所得	0.0001	0.0001	-0.0000	0.0001	0.0001	-0.0000	-0.0000	-0.0000	-0.0000
医療(入院)									
病院病床数(療養)	-0.0001	-0.0001	-0.0001	-0.0001 ***	-0.0001 ***	-0.0001 ***	-0.0002 ***	-0.0002 ***	-0.0002 ***
病院病床数(一般)	-0.0001	-0.0001	-0.0000	-0.0000	-0.0000	-0.0000	-0.0001 **	-0.0001	-0.0000
医療(在宅)									
在宅療養支援病院	-0.0073	-0.0068	-0.0060	-0.0032	-0.0022	-0.0003	0.0004	0.0008	0.0007
診療所数(注1)	0.0019	0.0014	0.0100 ***	0.0013 **	0.0017 ***	0.0117 ***	0.0023 ***	0.0019 ***	0.0060 ***
介護(施設)									
介護老人保健施設定員	-0.0000	-0.0000	-0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	-0.0000 **	-0.0000 **	-0.0000 **
介護老人福祉施設定員	-0.0000	-0.0000	-0.0001	-0.0000	-0.0000	-0.0000	-0.0000	-0.0000	-0.0000
介護(在宅)									
訪問看護ステーション	0.0031	0.0028	0.0015	0.0039 **	0.0034 **	0.0022	0.0001	0.0002	-0.0001
小規模多機能型居宅介護事業所	-0.0017	-0.0023	-0.0024	-0.0011	-0.0015	-0.0017	-0.0002	-0.0002	0.0001
複合型サービス事業所	0.0032	0.0034	0.0080	-0.0018	-0.0008	-0.0052	0.0183	0.0169	0.0168
定数項	-1.8043 ***	-1.7686 ***	-1.6799 ***	-1.8127 ***	-1.7817 ***	-1.7215 ***	-1.5215 ***	-1.5354 ***	-1.5422 ***

